

公立学校を  
あきらめない！

見て話そう！  
そして、  
感動と感謝を口に

## 子どもを スーパーヒーロー<sup>に</sup>する

違和感キヤッチ!  
スピード対応!

## 學校教育目標

その手で未来を創りあげる桂坂の子～かかわる、つながる、そして、かがやく～



壹かぬ心 育成をめざす資質・能力

- ◆「くわくわくする授業」  
子どもを主眼にした授業 指導と評価の一体化  
桂坂IDErのルーフリック化(校内研究の推進)

◆児童を学びにつなげるアセスメント機能強化  
生徒指導委員会・児童支援委員会 全教職員で逐別開催

◆発達支持的生徒指導を生かした学級づくり  
生徒指導実践上の4つの視点  
学習規律(大枝中ブロック)「学びのガイドライン」

◆「キラりんくタイム」と「なかよしトーク」  
人権について学びを深める学習をカリキュラム・マネジメントする  
対話を通じて、人権課題への態度を上げる

◆全校行事でつくるモチベーションズム  
1年生をむかえる会・委員会ラリー・運動会・キラりんく音楽祭・かざらっこパーク・6年生を送る会

◆個別最適アナログ帯時間「チャレンジ10」  
自学自習・自己決定の棲地を養うレジリエンス強化

◆役に立つ喜びを 「フレッシュアクション」  
給食当番の片付け活動 清掃活動 自主性をのばす

◆児童会活動の活性化 ピアサポート充実  
継続割りで交流し互いを理解・尊重する経験を増やす

## めざす教職員像



令和7年度 京都市立桂坂小学校 キラりんく（人権教育）の全体計画

児童の様子  
学力・学習状況  
\* 授業、家庭学習の現状分析から  
\* 学力調査等の結果から  
規範意識・社会性

- \* 授業・家庭学習の現状分析から
  - \* 力学調査等の結果から

規範意識・社会性

  - \* 学校行事や児童会行事、当番遊び時間、登下校の様子から
  - \* ルール・マナーの現状分析から
  - \* 放課後や休日の様子から

人間関係形成

  - \* 児童ぶりかえりアンケートやいじめ  
グラスマネジメントシートの結果から

- ◆ いきいきと字小手
- ◆ **自分も人も大切にする子**
- ◆ しなやかでたくましい子

## 学校教育目標

関係法令等  
日本国憲法  
教育基本法・学校教育法  
学習指導要領

## 京都市「学校教育の重点」

- \*「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども」を育成する
  - \*1人1人の子どもを徹底的大切にする京都市の教育
  - \*主体性と社会性の育成、「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」の育成
  - \*ウェルビーイングの実現

京都はぐくみ憲章

キラりんく(人権教育)を通して身に付けさせたい資質・能力(発達段階における目標)※教科等の特性を生かす。また教科等横断的につながる。

着眼点	低学年	中学生	高学年
<b>生命</b>	いのちの大切さに気付き、 <b>安全</b> なくらしをすることができる。	いのちをかけがえのないものとして大切にし、すすんで <b>健康</b> 、 <b>安全</b> なくらしに取り組むことができる。	自他のいのちの尊さを理解し、互いの <b>健康</b> 、 <b>安全</b> を育むのをなくしてするために協力することができる。
<b>尊厳</b>	だれもがしあわせに生きたいと願っていることに気付き、 <b>いじめや差別</b> をしないように気を付けることができる。	だれもがしあわせに生きたいと願っていることを理解し、 <b>いじめや差別</b> を許さず、協力して解決することができる。	基本的人権について正しく理解し、 <b>いじめや差別</b> 、 <b>あらゆる人権侵害</b> を許さず、協力して解決することができる。
<b>集団</b>	友だちと気持ちよく生活し、 <b>誰とでも仲良く</b> することができる。	友だちと <b>協力</b> し、課題は <b>話し合い</b> を通して解決することができる。	友だちと <b>協力</b> しながら、集団にとってよいと思ったことは <b>自ら進んで</b> 行動し、課題は <b>話し合い</b> を通して解決することができる。
<b>役割</b>	<b>係や当番活動</b> にすんで取り組むことができる。	<b>係や当番活動</b> が集団生活にとって大切であることに気付き、すすんで取り組むことができる。	<b>係や当番</b> 、 <b>委員会</b> や <b>児童会</b> 等の活動に積極的に取り組み、役割を果たすこと、貢献することの喜びを感じることができる。
<b>コミュニケーション</b>	きもちのいい <b>あいさつ</b> ができる、人の話をしっかりと聞くとともに、相手の言うことを理解しようとすることができる。	きもちのいい <b>あいさつ</b> 、 <b>反応</b> ができる、相手の考え方をしっかり聞くとともに、自分の考えも伝え、 <b>折り合い</b> を付けることができる。	きもちのいい <b>あいさつ</b> 、 <b>反応</b> ができる、互いに <b>尊重</b> し <b>合いながら</b> いたり伝えたり、 <b>よりよく折り合い</b> を付けることができる。

キラりんく(人権教育)をすすめるにあたって重視する「4つの側面」 実践内容

AS 人権としての教育	IN/THROUGH 人権を通しての教育	ABOUT 人権についての教育	FOR 人権のための教育
就学の <u>機会均等</u> の保障はもとより、子どもたちの「生きる力」を培う豊かな教育を受けることが保障されているか	人権の大切さを日常的に感じながら学習することができる <u>環境</u> 、 <u>心理的安全性</u> が確保される <u>環境</u> 、学校や学級において作り出すことができているか	人権についての理解を深める <u>学習</u> を通して、人権を守る意欲や態度をはぐくとともに、人権にかかわる問題解決のために行動できる人を育むことができるか	さまざまな立場の人の交流や、協働した活動を通して、 <u>自己有用感</u> 、 <u>自己効力感</u> を高めながら他者を尊重する <u>豊かな人間関係</u> づくりができるか
・子どもたちの「学びたい」「分かりたい」「できるようになりたい」と呼び起こし、実現していく。 ・学習意欲を妨げるさまざまな要因を、子どもの立場で考え、一緒に取り除いていく。	・自分の存在が認められ、安心できる教室で学べるようになる。 ・ルールやマナーが尊重される風土の中で学べるようにする。 ・整理整頓を日常化し、「割れ窓理論」を放置しないようにする。	・自分も人もかけがえのない大切な存在であることが実感できる学習を行なう。 ・自分や人の尊厳、基本的人権が脅かされる場面について、解決のしかたが考えられるようにする。	・「自分にもできることがある」「自分もだれかの役に立てる」ということを実感できる取組を行なう。 ・知恵を出し合い、協力することで、楽しい時間や達成感・充実感が得られることに気付けるようにする。
◆ <b>学力保障、多様な学びのある授業の創出</b> （複線型、個別最適） ◆ <b>めざす資質・能力</b> <b>桂坂iDeR</b> 課題発見・探究力 対話共感力 レジメンス ◆ <b>自立を促す特別支援教育</b> 充実 ◆ <b>配慮を要する児童</b> （生指上・総育上・被虐待）への <u>アセスメント</u> の向上、支援の強化 ◆ <b>不登校対策、支援の強化</b> 早期、組織的対応	◆生徒指導実践上の4つの視点の浸透（ <u>発達支持的生徒指導</u> ） ◆ <b>学習規律</b> の徹底（特に「聞く」） ◆学校じみの防ぼう等基本方針の理解、 <b>いじめ対策</b> の強化 早期発見、組織的対応 ◆教室、校内の <u>UD化</u> 、 <b>整理整顿</b> ・ <b>清掃</b> の徹底 ◆ <b>教育相談週間</b> 、ていねいな聞き取り	◆毎月1回「 <u>なかよしトーク</u> 」（人権について考える対話の時間） ◆人権についての学習「 <u>キラりんタイム</u> 」のカリキュラムマネジメント（四つ巴の人権課題*と重点化する4つの人権課題**） * 安全教育、金融経済（消費者）・法教育 * いじめ根絶、シジンダーの多様性、多文化共生、総合育成支援	◆ <b>学級活動や児童会活動での</b> <b>自治的な活動</b> 、ワクワクする魅力ある <u>つながり時間</u> の創出 ◆ <b>キャリア・バスポート</b> の有効活用（自己有用感・自己効力感） ◆ <b>異学年交流</b> ◆校外学習・体験活動・外部協働・地域協働の充実（「ほんまちん」） ◆ <b>「ほんまちん」</b> （あ）

教職員の人権意識の高揚、取組推進の力量向上(研修、自己研鑽の強化)  
児童理解の場を定期的に設け、教育環境としての「あたたかで受け容力のある人権意識の高い教職員組織」をめざす。人権教育に係る理論実践について共通理解を図り、個の資質能力向上をめざすとともに、全教職員が人権教育に軸付けて教活動を推進する実践力を身に付けるため当事者意識をもって研修に取り組む。

## 家庭や地域との連携(発信)